

公益社団法人福知山市文化協会

令和7年度第1回理事会議事録

- 1 日 時 令和7年5月9日（金） 19時～20時12分
- 2 場 所 市民交流プラザふくちやま 3階視聴覚室
- 3 理事数 18名（定足数10名）
- 4 出席者 理 事 16名
足立由香理 池田 聡 大槻 紘 大西裕美 大橋恒雄
尾松克巳 折杉浅子 衣川洋子 桐村一彦 塩見榮子
塩見正仁 田渕百合子 徳永貴光 稗田勅子 前田竹司
前原克子
監 事 2名
榎原博雄 山口 誠
- 5 欠席者 理 事 2名
小橋美蘭 山路聖市
監 事 0名
- 6 議 題 第1号議案 令和6年度事業報告・業務報告について 承認事項
第2号議案 令和6年度収支決算について 承認事項
(令和6年度定期監査報告について)
第3号議案 令和7年度第1回総会の招集について 決議事項

7 議事の経過及びその結果

定刻19時、司会者池田聡専務理事兼事務局長より、上記出席状況の報告があり、理事の過半数を満たし本日の理事会が有効に成立した旨を宣言した。

さらに、定款第32条の定めにより前田竹司会長が議長にあたること、及び定款第34条第2項の定めにより代表理事である前田会長及び榎原博雄監事及び山口誠監事が議事録に記名押印することの説明があった。

次いで前田会長が議長となり、下記のとおり審議した。

記

第1号議案 令和6年度事業報告・業務報告について

定款第21条第4項の定めによる会長・副会長・専務理事の自己の職務の執行の状

況の報告を順に行った。

最初に前田会長より次のとおり報告があった。

〔事業・業務報告及び収支決算の概要〕

令和6年度では任期満了に伴う当協会の役員（理事）の改選を行い、新たな体制で運営をスタートした。

令和6年度は当協会の中期経営計画の3年目にあたり、福知山市所管部署（文化・スポーツ振興課）が外部有識者による福知山市外郭団体三次評価を受けた結果、福知山市に対して「福知山市の文化施策の方向性と当協会の活動方針が合致しているのかわからない」という課題が示された。

また、京都府公益認定等審議会（京都府総務調整課）により、5年前後の周期で実施される公益法人立入検査を受けた結果、全体的に適正に事務処理を行っていることを確認されたが、遊休財産の保有制限を大幅に超過していることについて指摘を受けたため、今後、その解消に向け対策を検討する必要がある。

令和6年度では、年度当初に予定していた事業を全て行うことができた。また、各加盟団体の日ごろの稽古や練習、成果発表の場もコロナ禍前の活発な状況に回復してきた。

収支決算については、団体所属個人会員の年会費を1,000円から1,500円／人に改定し財務状況の改善を図ったが、著しい会員の減少に歯止めがかからない状況が続いており、結果として収支合計で27万円余の赤字を計上した。

今後、福知山市の所管部署とさらに連携を密にし、努力と研鑽を重ねる必要がある。

〔第60回福知山市展〕

11月1日から4日まで4日間にわたり、福知山市厚生会館で開催した。

出品者数は295名、応募数は399点、展示数は288点で、延べ1,813名の入場があった。

入場者数は令和5年度より減少したが、11月2日に大雨・洪水警報の発表により観覧中止となった影響が大きい。

〔中丹地域における文化行事に対する協力〕

京都府中丹文化事業団による第38回中丹文化芸術祭として「踊りとダンスの祭典」「コーラスフェア2024」「中丹写真展」「短歌・俳句・川柳公募'24表彰式」「舞のつどい」に、第10回中丹文化交流フェスタとして「ジュニア文化祭」「アンサンブルフェア」にそれぞれ加盟団体が出演・協力を行った。

福知山市と舞鶴市、綾部市の文化協会で組織する中丹文化協会連絡協議会では、例年どおり9月に中丹文協連だよりを4,000部発行した。

福知山市内の旧 1 市 3 町の文化協会で組織する福知山市域文化協会連絡協議会では、夜久野町文化協会の「第 2 4 回文化祭」に加盟団体が交流出展に協力した。

次に、大槻紘副会長が昨年秋より病氣療養が続き活動できなかったため、大槻副会長の担当業務についてはそれぞれの委員会で副委員長の大橋恒雄副会長より、また文協フェスティバルについては、舞台部門の委員長の稗田勅子副会長よりまとめて報告することとした。

最初に、前田議長の指示により、稗田副会長より次のとおり報告があった。

〔第 4 2 回福知山市合唱祭〕

1 月 2 8 日に福知山市厚生会館で開催し、3 1 団体・延べ 6 2 9 名が出演し、1 6 9 人の鑑賞者があった。

出演者・鑑賞者とも令和 5 年度より減少したが、令和 6 年度からグンゼ福知山配送センターを来場者の無料駐車場として確保できなかったことが影響したと思われる。

〔広報誌「しんかわらばん」〕

令和 5 年度より発行回数を 1 回減らし、7 5 号・7 6 号と、当初の予定どおり年 2 回・各 1, 5 0 0 部を発行した。

〔特別事業〕

9 月 2 1 日、福知山市厚生会館で「京都フィルハーモニー室内合奏団 ファミリーコンサート」を開催した。

各団体等の協力により 4 1 8 枚のチケットを販売でき、3 2 3 名の入場者があった。

販売枚数・入場者数とも令和 5 年度より減少したが、令和 5 年度より入場料を 5 0 0 円増の 2, 5 0 0 円としたことや、令和 6 年度からグンゼ福知山配送センターを来場者の無料駐車場として確保できなかったことが影響したと思われる。

〔第 3 1 回文協フェスティバル〕

3 月 1 日・2 日の 2 日間、福知山市厚生会館で開催した。

当協会のメイン事業であり、舞台部門で 2 3 団体（出演 2 5 3 名）、展示部門で 1 2 団体・2 個人（作品 2 1 1 点）、交流出展 3 団体の参加があり、延べ 9 0 0 名に来場いただいた。

入場者数は令和 5 年度より大幅に減少したが、令和 6 年度からグンゼ福知山配送センターを来場者の無料駐車場として確保できなかったことが影響したと思われる。

次に、前田議長の指示により、大橋副会長より次のとおり報告があった。

〔第 5 0 回文学のしるべ〕

実行委員会で設置場所を御霊神社に決定のうえ、7月8日から9月30日まで作品を募集し、短歌23首、俳句39句、川柳27句の応募があり、審査の結果、11月10日に短歌・俳句・川柳の優秀作品をそれぞれ碑板に揮毫し現地に建立した。

建立後は合評会を開催し、優秀作品の作者のほか審査員も出席いただき講評や意見交換を行った。

50回を重ねてきたが、一定の成果が見込まれたことから区切りをつけ、今回で最終回とする。

〔文化活動に貢献した団体及び個人の表彰〕

加盟団体及び本部より具申のあった候補者を顕彰審査委員会で審査の結果、表彰状を1名・1団体に授与、感謝状を5名に贈呈することとした。

1月19日の新年互礼会の席上、表彰式を挙行了した。

最後に、前田議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より次のとおり報告があった。

〔第77回福知山市文化祭〕

市内各会場において合計35行事を実施し、入場者数は令和5年度よりも大幅に増加し延べ6,663名の入場があった。

コロナ禍による制限の解除により、加盟団体が積極的に発表の機会を設けた影響が大きい。

〔第55回市民文化教室〕

14教室で合計67回開催し、実数95名、延べ332名の受講があった。

〔福知山市上下水道部厚生棟の管理〕

貸館利用では合計12件、延べ76名の利用があったほか、当協会の会議等を含めると全体で合計14件、延べ86名の利用があった。

施設の老朽化が進んでおり、冷暖房が故障のため使用できないことから、今後の利用者の増加は期待できない。

〔事業実施に係る業務〕

「令和6年度業務報告書」により、加盟団体の状況、主催事業等に関する会議等、共催事業に関する会議、公益社団法人に関する業務、その他の会議・業務等、会員交流行事、後援事業、福知山市社会教育関係団体に係る市民交流プラザ等会場使用料減免申請、FM丹波「文化は心の癒し」への出演、福知山公立大学まちかどキャンパス「吹風舎」への作品展示について報告があった。

前田議長は本件について質疑がないか諮ったところ発言がなかったため、挙手により採決を行い、出席理事全員賛成で原案のとおり承認した。

第2号議案 令和6年度収支決算について（令和6年度定期監査報告について）

前田議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より議案資料に基づき次のとおり説明があった。

〔全体概要〕

収入の部では、加盟団体所属個人会員の会費改定により、令和5年度と比べ会員会費は33万5,000円の増額となった。

また、事業収入について、特別事業のチケット売り上げが低調であったため、16万3,020円の減額となった。

支出の部の事業費では、文協フェスティバルについて、グンゼ福知山配送センターの借り上げが終了し賃借料が減少したことにより、7万2,710円の減額となった。

また、特別事業について、出演料の増加や、三段池公園無料駐車場の借用及び駐車場から会場までの輸送バス等の経費が新たに発生したことにより、31万7,355円の増額となった。

さらに、福知山市文化祭について、実施団体の増加により当協会からの助成金が増加したことにより、3万826円の増額となった。

管理費では、給与手当について、臨時職員1名の雇用期間が4ヵ月から半年となったことにより、16万9,367円の増額となった。

また、福利厚生費について、当協会関係者の逝去等への対応として慶弔費を支出する件数が減少したことにより、4万1,838円の減額となった。

〔貸借対照表〕

令和5年度と比べ流動資産合計で30万8,965円減少し、基本財産合計は増減なし、特定資産合計で2万円増加したことで、資産合計は28万8,965円減少し2,585万9,086円となった。

流動負債合計で3万6,321円減少し、固定負債合計で2万円増加したことで、負債合計は1万6,321円減少し16万7,699円となった。

指定正味財産合計は増減なし、正味財産合計で27万2,644円減少したことで、正味財産合計は27万2,644円減少し2,569万1,387円となった。

負債及び正味財産合計は、資産合計と同じ28万8,965円減少し2,585万9,086円となった。

〔財産目録〕

流動資産にあたる普通預金の合計で570万9,086円、固定資産にあたる定期預金等の合計で2,015万円、資産合計は2,585万9,086円となった。

流動負債にあたる未払金や預り金の合計で6万7,699円、固定負債にあたる退職給付引当金で10万円、負債合計は16万7,699円となった。

資産合計から負債合計を差し引いた正味財産は2,569万1,387円となった。

〔財務諸表に対する注記〕

福知山市からの補助金として、福知山市文化協会事業支援補助金があるが、令和6年度内に交付を受け使い切っているため、前期末残高及び当期末残高のいずれもゼロとなった。

〔附属明細書〕

退職給付引当金については事務局長の退職に備えたものであり、退職金規程第5条の定めにより毎年退職給付引当預金口座に2万円を積み立てており、期末残高は10万円となった。

〔正味財産増減計算書〕

令和5年度と比べ変動が大きい科目について説明があり、経常収益計は18万2,240円減少し607万9,747円となり、経常費用計は30万7,713円増加し635万2,391円となった。

経常収益計から経常費用計を差し引いた当期経常増減額は48万9,953円減少し27万2,644円の赤字となった。

〔正味財産増減計算書内訳表〕

経常収益の受取会費は入会金及び会費に関する規則第4条の定めにより、公益目的事業に4割、公益目的事業以外に6割を配分している。

受取補助金等については福知山市への請求内訳を基準に、受取負担金については福知山市との共催事業の2分の1以内の精算内訳を基準に、公益目的事業会計及び収益事業等会計及び法人会計に配分している。

池田専務理事兼事務局長による説明の後、監事を代表して山口監事より監査の方法及びその内容に基づく監査の結果として、「事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認める」「理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない」「計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める」との監査報告があった。

前田議長は本件について質疑がないか諮ったところ発言がなかったため、挙手により採決を行い、出席理事全員賛成で原案のとおり承認した。

第3号議案 令和7年度第1回総会の招集について

前田議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より議案資料に基づき次のとおり説明があった。

令和7年度第1回総会を、5月26日19時から市民交流プラザ3階市民交流スペースで開催する。

議題は先ほど審議した第1号議案「令和6年度事業報告・業務報告について」及び第2号議案「令和6年度収支決算について（令和6年度定期監査報告について）」である。

本日この後、それ以外に総会で提案する議題が出てきた場合、追加して記載する。

総会を欠席される場合には書面による議決権の行使を認め、議案ごとに賛否を問うこととするため、理事会と総会の間を中14日以上空ける必要がある。

前田議長は本件について質疑がないか諮ったところ発言がなかったため、挙手により採決を行い、出席理事全員賛成で原案のとおり決議した。

以上で、事前に予定していた議題の審議及び報告を終了し、前田議長はその他議題として取り上げたい内容や、その他の意見、提案等を求めたが発言はなく、以上をもってすべての審議を終了し、20時12分、前田議長は閉会を宣言した。

上記、議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、議事録を作成し、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和7年5月10日

公益社団法人福知山市文化協会 令和7年度第1回理事会

代表理事 前 田 竹 司 ⑩

監 事 榎 原 博 雄 ⑩

監 事 山 口 誠 ⑩